

情 報 公 開 文 書

研究の名称	既存臨床情報を用いた腎臓病・リウマチ膠原病疾患に関する観察研究 (多施設共同研究)
受付番号	3 6 3
研究機関の名称	富山赤十字病院
研究責任者	富山赤十字病院 腎臓・リウマチ・感染症内科 部長 川根隆志
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山赤十字病院で2005年4月1日～2028年3月31日に受診した18歳以上の症例（尿検査、血液検査を施行した症例）。</p> <p>【研究の目的】 日本国内の慢性腎臓病患者は1,330万人と推定され、新たな国民病として注目されています。また、リウマチ膠原病疾患の罹患率は人口の0.6～1.0%、患者数は60～100万人と推定されており、腎臓病とリウマチ膠原病疾患は密接に関連しており、全身性エリテマトーデスやANCA関連血管炎、関節リウマチなど疾患そのものによる腎合併症の頻度が高く、生涯にわたり治療を必要とする疾患であるがゆえに、治療薬による腎障害も多く報告されています。腎臓と臓器障害の間には密接な関係が示されているが、その詳細はいまだ不明な点が多く、十分に解明されていません。これらの臓器間ネットワークを解明することによって合併症の発症や進展を阻止し患者のQOLならびに生命予後の改善を図ることを目的とします。</p> <p>【研究方法】 診療情報を用いた前方後方視的観察研究。 個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日等）を削除し独自の符号を付し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。</p> <p>【研究期間】 2005年4月1日～2028年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表や学術雑誌およびデータベース上で公表予定。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法	診療情報、治療に関するデータ、生活習慣に関するデータ、予後に関するデータを匿名化した状態で提出。
試料・情報の管理責任者	富山赤十字病院 腎臓・リウマチ・感染症内科 部長 川根隆志
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望および個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>担 当 者 富山赤十字病院 腎臓・リウマチ・感染症内科 川根隆志 電 話 番 号 076-433-2222 受 付 時 間 平日 14 時～16 時</p>